

かごしま検定～鹿児島観光・文化検定～  
第13回かごしまグランドマスター試験  
模範解答

(1. 解答例)

花崗岩はマグマが地下深部でゆっくりと冷えてできた岩石で、その後の隆起で地表に露出したものである。鉱物はおもに石英、正長石、黒雲母からなり、白く美しいので墓石や建物の化粧板に使われる。県内では下甕島、紫尾山、高隈山、大隅山地、世界自然遺産の屋久島、徳之島北部に露出し美しい景観を作っている。花崗岩に懸かる滝や溪谷は、大隅山地北部の轟の滝、高隈山の猿ヶ城溪谷、屋久島の千尋の滝がある。徳之島北部では海岸に露出するムシロ瀬がある。また、下甕島には風化によってできた神様石がある。(236字)

(2. 解答例)

幕藩体制下の薩摩藩は、関ヶ原の戦いで西軍に荷担したことから外様大名として位置付けられ、幕府から厳しい支配統制を受けた。ところが、5代将軍徳川綱吉の養女・竹姫が島津継豊に嫁ぎ、島津重豪の娘・茂姫が11代将軍となる家斉に、斉彬の養女・篤姫が13代将軍家定に嫁ぐなど、将軍家と婚姻を通じ、縁戚関係を深めることが度々であった。徳川将軍家に御台所として嫁いだ大名家は唯一島津家だけであり、竹姫と篤姫の婚姻は、徳川側からの提案であったことが特徴的である。(221字)

(3. 解答例)

ともに大島郡伊仙町出身。芳朗は東京で小学校教師を経て詩文学雑誌「詩律」を創刊・主宰した。太平洋戦争後には、本土から分離された奄美群島の祖国復帰運動を目指して協議会を結成。議長に就任して120時間断食祈願をやり抜くなど終始運動をリードし続け悲願を成就させた。重千代は114歳で長寿世界一とされ、昭和60年には町をあげて120歳の大還暦祝賀会が開かれた。超人的な生命力にあやかろうと多くの観光客が島を訪れた。(197字)

(4. 解答例)

鹿児島県の農業生産は、全国有数の規模を誇るが、とくに豚、ブロイラー、肉用牛などの畜産品のウエイトが高いという点に大きな特徴があり、畜産品産出額は農業産出額の約半分を占める。このため、中核国際港湾である志布志港はとうもろこし、稲わらなどの飼料原料の輸送基地として重要な役割を果たしており、背後の臨海工業用地には大規模な飼料コンビナート、配合飼料製造業が立地している。(182字)

(5. 解答例)

- ①川内川 ②大口 ③菱刈 ④曾木の滝 ⑤曾木発電所

【200字程度の文章】

海音寺潮五郎は、旧大口市に生まれ、国学院大学を卒業後、旧制指宿中学で教師を務めた後、京都で創作活動を行い、1936年に「天正女合戦」で第三回直木賞を受賞、歴史文学の大道へ踏み出した。大河小説「二本の銀杏」、史伝「西郷隆盛」など郷里に題材を得た代表作を残した。また、同じく旧大口市出身の平岡斗南男は、旧制大口中を卒業後、上京してモダンバレエの道へ進み、妻の志賀美也子と舞踊団を結成。1963年「ビルマの豎琴」は芸術祭文部大臣奨励賞を受賞するなど、文芸もので独自の道を切り開いた。(230字)